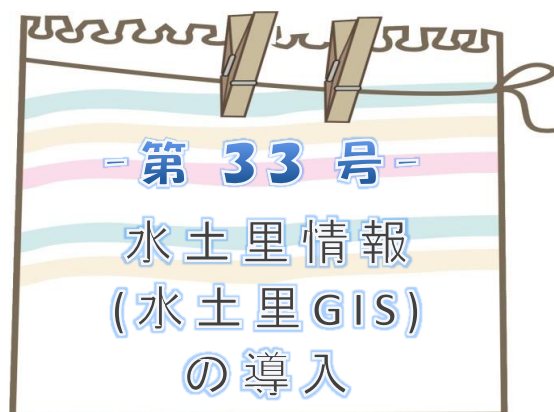
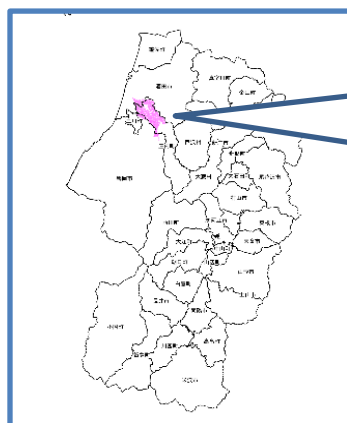


# もがみがわ 情報局

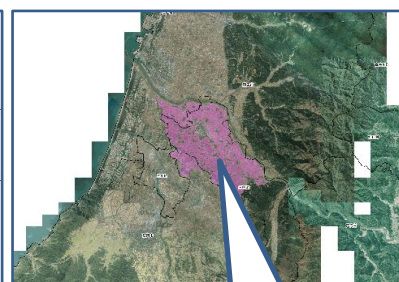
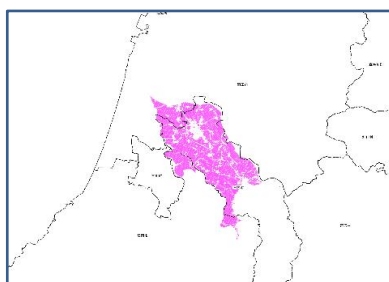


本区で管理している約6,500haの受益地は、約32,000筆にも及ぶ土地で構成され、その1つ1つに地番(住所)があり、それぞれの地積(面積)や耕作者・所有者をすべて把握する必要があります。

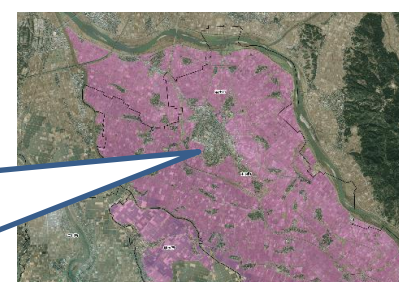
そういった情報を地図上で把握できるようにするのが、「水土里情報(GIS)」というもので、今年度から最上川土地改良区でも導入しました。



赤色が本区受益地。右図は航空写真を重ねたもの。



最上川土地改良区(航空写真)



このシステムは、水土里ネットやまがた(土地連)で整備・管理している航空写真(オルソ画像)・地形図・農地筆図・地番・地目・地積などの地図情報に、改良区が管理する耕作者・所有者などの情報を結びつけた「農地地図情報システム」です。

また、このシステムは、県内の多くの改良区や市町村等で共同運用をしており、それぞれの区画変更等の情報を土地連で収集・反映させることで、最新の地図情報を運用者すべてが共有できるのも良いところです。(各運用者の個人情報とは共有・公開されません)

現在、導入したばかりで慣れない中ですが、組合員の皆様へより良い情報提供が出来るよう職員みんなで勉強中です。